



インフルエンザが流行しています。

大分県健康づくり支援課によれば1月20日～1月26日の県内の定点医療機関の1医療機関当たりの患者数は26.59人で増加傾向にあります。

大分市内の幼・小・中学校では1月30日現在4学級が学級閉鎖となっており、出席停止になっている人は142名です。本校では、学級閉鎖はしていませんが、1月の出席停止者は、1年生19名、2年生23名、3年生6名の計48名、1月31日現在は計6名です。いずれもA型で、今後、B型の流行も心配されます。引き続き、顔をさわらない、うがい、手洗い、マスク、換気、加湿、を避ける、十分な栄養と休養、手指のアルコール消毒などを心がけましょう。



保健室からのお願い

マスクは、全員準備するようお願いしています。

また、登校後、頭痛、せき、鼻水、関節痛の症状があるのに、マスクを着用せず、無理をして授業を受ける人がいます。次のことを必ず守りましょう。

- (1) 平熱が高いなどの理由がある人を除き、37.0℃以上の発熱とかぜ・インフルエンザ症状がある場合は、無理をして登校しないようにしてください。
- (2) 全員、マスクを持参してください。
- (3) 症状がでたら必ずマスクを着用してください。また、予防のためにもマスクを着用しましょう。
- (4) 体調が悪くなったらすぐ申し出てください。

新型コロナウイルス感染症の予防は季節性インフルエンザと同じです。

WHOが日本時間1月31日未明、新型コロナウイルスの「緊急事態」宣言を出しました。首相官邸ホームページによる「国民の皆様へのメッセージ」は次の通りです。

- 新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、ヒトからヒトへの感染が認められましたが、現時点では広く流行が認められている状況ではありません。国民の皆様におかれては、過剰に心配することなく季節性インフルエンザと同様に咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 武漢市から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に医療機関へ連絡したうえで、受診していただきますよう、御協力をお願いします。また、医療機関の受診にあつては、武漢市の滞在歴があることまたは武漢市に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。

詳しくは以下のページをご覧ください。

- ▶ [新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～ \(首相官邸HP\)](#)
- ▶ [新型コロナウイルスに関するQ&A \(厚生労働省HP\)](#)

○厚生労働省の電話相談窓口 電話番号 03-3595-2285
(受付時間 9時00分～21時00分)

現在、日本でも感染者が9名(1月31日現在)でいますが、幸い死亡者はでていません。

- コロナウイルスは発熱やせきなどの症状を引き起こすウイルスで、人に感染をするものは6種類あります。2種類はSARS, MERSという重症な病気の原因ウイルスで、残りの4種類はかぜの原因ウイルスです。
- 感染経路は、季節性インフルエンザと同じ、接触感染と飛沫感染です。潜伏期間は現在のところ不明ですが、最大14日程度と考えられており、感染すると治るまで出席停止となります。
- 今後の国内の流行も心配されますが、不必要な人込みへの外出を避け、季節性インフルエンザと同様の予防を心がけましょう。
- また、誰でもかかる可能性のある病気です。感染者やそのご家族、流行地域に住んでいる方々のお気持ちも考え、不用意な言動を慎みましょう。

※現在マスクが入荷待ちの状態にあり、準備できない人もいます。その場合は、手洗いなどの予防を一層心がけると同時に、体調不良の場合は、早めに休養をとるようにしましょう。